

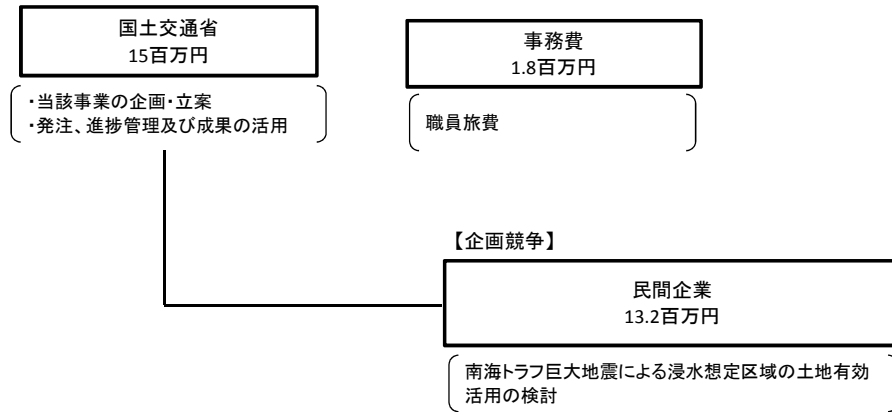
平成26年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	南海トラフ巨大地震による浸水想定区域の土地有効活用の検討		担当部局庁	土地・建設産業局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成27年度		担当課室	企画課		課長 百崎 賢之		
会計区分	一般会計		政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 31 不動産市場の整備や適正な土地利用のための条件整備を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	土地基本法第3条、第17条		関係する計画、通知等	国土強靱化基本計画第3章2(12)土地利用				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	津波等の被災を想定した土地の有効活用策を示したガイドラインを作成・普及することにより、被災時においては減災及び速やかな復興に寄与するとともに、地方公共団体が土地利用を総合的に見直す指針として活用され、併せて地価対策に資することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	南海トラフ巨大地震の浸水想定区域を含む土地取引及び土地利用の動向調査、津波による被災地等における事例収集等を踏まえた課題抽出を行い、減災・復興及び地価対策の観点から土地の有効活用策についてガイドラインを作成・普及する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
		補正予算					15	
		前年度から繰越し						
		翌年度へ繰越し						
		予備費等						
		計					15	
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果目標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)
	本事業は土地の有効活用策について指針を示すものであり、アウトカムの設定は困難である。		成果実績	—	—	—	—	
			目標値	—	—	—	—	
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	本事業は課題抽出等を行うものであり、アウトプットの設定は困難である。		活動実績	—	—	—	—	—
			当初見込み	—	—	—	—	—
			算出根拠		単位	23年度	24年度	25年度
単位当たりコスト	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	-		単位当たりコスト	—	—	—	—	—
			計算式	/	—	—	—	—
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	-	1.8	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」15百万円				
	不動産市場整備等推進調査費	-	13.2					
計	-	15.0						

事業所管部局による点検・改善						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	南海トラフ巨大地震の被害想定等において津波による浸水想定区域とされた地域では地価下落等がみられるところ、地方公共団体には当該区域の土地有効活用方法等につきノウハウがないため、国が優先的に実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検・改善結果	点検結果	南海トラフ巨大地震の被害想定等において津波による浸水想定区域とされた地域では地価下落等がみられるところ、地方公共団体には当該区域の土地有効活用方法等につきノウハウがないため、国が優先的に実施すべき事業である。				
	改善の方向性	-				
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-						
浸水想定区域及びその周辺での土地利用の変化、可能性等を、地域の実情を十分に踏まえ、効果的な調査、検討を行うべき。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
-						
	平成23年	-	平成24年	-	平成25年	-

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 しているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

A.			E.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

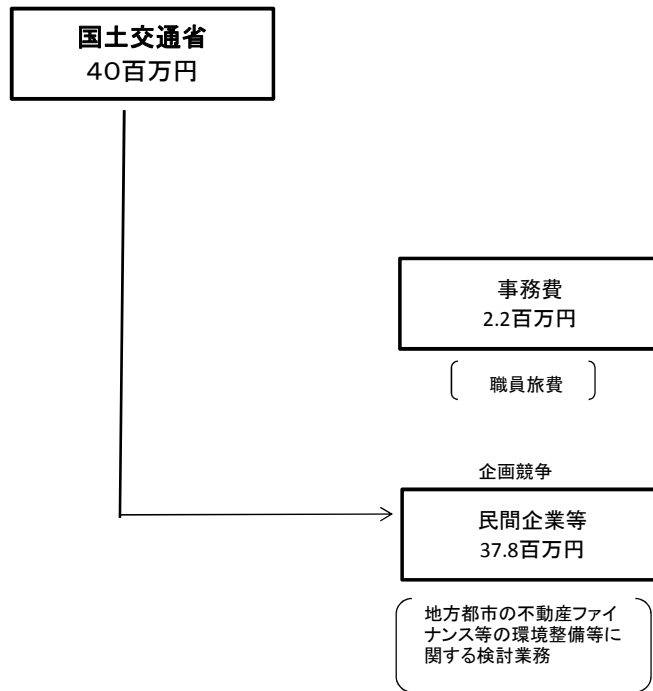
	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成26年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	地方都市の不動産ファイナンス等の環境整備事業	担当部局庁	土地・建設産業局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成27年度～終了(予定なし)	担当課室	不動産市場整備課	小林 靖			
会計区分	一般会計	政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 31 不動産市場の整備や適正な土地利用のための条件整備を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	「経済財政運営と改革の基本方針」第2章3(3)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地方都市において、不動産ファイナンスの課題に取り組む先進的な事例(例えば、利用者＝投資家となるような地域プロジェクト)に関する事例集を作成するとともに、セミナー等の開催により知見の共有を図ることで、資金の循環による地域の創生・再生を促進。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地方都市において、資金の循環による地域の創生・再生の観点から、地域経済の核となる施設(オフィス、商業施設等)又は社会的ニーズが高い施設(ヘルスケア施設等)等の整備を行うにあたって、不動産証券化手法を含めた資金調達手法の活用のあるり方について検討する。具体的には、地方都市の不動産ファイナンス等の環境整備のための有識者検討会及び各地域におけるセミナーの開催、地方都市における不動産ファイナンス等に係る事例集の作成、地方都市におけるヘルスケアリート活用促進のための環境整備を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算					40
		補正予算					
		前年度から繰越し					
		翌年度へ繰越し					
		予備費等					
	計					40	
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)
	地方都市において不動産投資による資金の循環を生み出すための環境整備を実施する事業であり、全国的に知見を共有することが目的であることから、定量的な成果目標を設定することは困難である。		成果実績	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	・セミナーの開催(全国10箇所) ・事例集の作成		活動実績	-	-	-	-
			当初見込み	-	-	-	-
単位当たりコスト	算出根拠		単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	÷		単位当たりコスト	-	-	-	-
			計算式	/	-	-	-
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	-	2.2	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」40百万円			
	不動産市場整備等推進調査費	-	37.8				
計	-	40.0					

事業所管部局による点検・改善						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の 必要性		広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	・地方において良質な不動産の形成、資金の循環を促すため不動産ファイナンス手法の活用ニーズは日本全国の地銀等にある。国費を投入して横断的なセミナー等を行い環境整備をする必要がある。 ・地域に限って行うものではなく、地方ごとのニーズや特性を把握することが重要であり、日本中を面的に対象とした検討・調査が必要であることから、国で行うことが適切。 ・不動産証券化の活用は「骨太の方針」にも位置づけられており、優先度が高い事業である。		
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
		明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業の 効率性		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-		
		受益者との負担関係は妥当であるか。	-			
		単位当たりコストの水準は妥当か。	-			
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-			
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-			
		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
事業の 有効性		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-		
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-			
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-			
重複 排除		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検・ 改善 結果	点検結果	本事業は、「経済財政運営と改革の基本方針 2014～デフレから好循環拡大へ～」において都市再生に「不動産証券化等の手法を活用する」ことが位置づけられていることから、国として優先的に取り組むべき課題である。				
	改善の 方向性	-				
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-						
地方都市での不動産ファイナンスに対する意識、不動産開発等の実情を十分に踏まえつつ、成功例の原因について普遍的な説明ができるよう効果的な分析、普及活動をすべき。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成23年	-	平成24年	-	平成25年	-

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

A.			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					